

富山県知事

石 井 隆 一 様

要 望 書

平成29年8月22日

富山県高等学校PTA連合会

日ごろより、本県高等学校PTA連合会の組織の充実と活性化のためご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

本連合会はこれまで、高等学校教育の充実・発展のため、家庭と学校・地域とのパイプ役を務めてまいりました。時代の変化に対応した様々な教育改革が実施されるなか、21世紀を担う子どもたちは、豊かな人間性と個性や能力を伸ばし、たくましく生きる力を身につける必要があります。

そのため、本連合会は、地域社会における教育の担い手としての役割をこれまで以上に推進し、活気に満ちた事業を展開してまいりたいと考えております。

つきましては、県立学校の教育振興に寄与いたします次の要望事項について、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年8月22日

富山県高等学校PTA連合会 会長 石坂 兼人

重点要望事項

- 1 県立高校の再編による高校教育の充実
- 2 県立学校における学習環境充実への支援
- 3 ICT教育の充実への支援

要望の概要説明

1 県立高校の再編による高校教育の充実

県立学校整備のあり方等に関する検討委員会でとりまとめられた報告書を踏まえ、昨年6月から、富山県総合教育会議において、県立高校の再編について検討・協議を積み重ねられるとともに、県内の4学区等で意見交換会を実施されるなど、丁寧に議論を進めていただいております。

こうした中、本年5月に開催されました総合教育会議において、今後見込まれる中学校卒業予定者数の減少に対して、高校を再編せず、学級減のみで対応した場合、平成38年度には、富山学区以外の学区において、全ての学校が1学年4学級以下となり、また、平成43年度には新川と砺波学区では全ての学校が3学級以下となり、高岡学区でも半数以上が3学級の学校になるとのシミュレーション結果が示されました。

中学生は地元固執せず、広い範囲の中から進みたい高校を選んでいますが、これからも各学区において中学生に幅広い選択肢を用意してあげることが大切だと考えております。

高校は地域の文化、歴史を作る場所ではありますが、それ以上に高校生の未来を創るための場所であるということが存在の意義であると考えます。

再編については様々な意見がありますが、生徒の目線を最優先にいただき、高校再編により、学習活動や部活動など生徒一人ひとりの夢や希望が叶えられるように、高校教育の充実に努めていただきますようお願いいたします。

2 県立学校における学習環境充実への支援

前期高校再編では、実習棟の新設等の施設整備や最新の実習・実験設備の導入などによりまして、学習環境や学習内容が大きく向上し、生徒の意欲・関心をより一層引き出していただいております。

今回の高校再編においても、新たな高校で学ぶ生徒たちの学習意欲を高めることができますように、施設の改修や設備の拡充・更新など、学習環境の充実についてご支援をお願いいたします。

3 ICT教育の充実への支援

平成 34 年度から実施される高校の次期学習指導要領では、論理的に考える力を育むプログラミング教育を新たに実施することとされております。また、第 4 次産業革命に対応するためにも、課題の発見・解決に ICT を活用する能力の育成などが必要とされています。

平成 29 年度予算において、県立高校 12 校にタブレット端末や無線 LAN を整備していただき感謝申し上げます。

今後とも、富山県においてはスピード感をもって、国の動きにアンテナを高くして、ハード、ソフトともに素早く対応していただきますとともに、引き続き、ICT 教育の充実への支援をお願いいたします。